2024 年 12 月 27 日

岡山県感染症週報 2024 年第 51 週（12 月 16 日 ～ 12 月 22 日）

◆2024 年　第 51 週（ 12 / 16 ～ 12 / 22 ）の感染症発生動向（届出数）

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました(12月 26 日)

【お知らせ】次週、2024 年第 52 週（12/23～12/29）の感染症週報は、2025 年 1 月 10 日（金）にホームページへ掲載いたします。

■全数把握感染症の発生状況

第 49 週　5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症　1 名（80 代　男）
梅毒　2 名（30 代　女　2 名）

第 50 週　2 類感染症　結核　1 名（80 代　男）
5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症　1 名（70 代　男）
急性脳炎　1 名（20 代　男）
侵襲性肺炎球菌感染症　1 名（幼児　男）
梅毒　4 名（10 代　女　1 名、20 代　男　1 名、30 代　男　1 名、50 代　男　1 名）

第 51 週　2 類感染症　結核　7 名（20 代　男　1 名、40 代　女　1 名、70 代　男　1 名・女　1 名、80 代　女　2 名）
5 類感染症　急性脳炎　1 名（幼児　男）
梅毒　3 名（20 代　女　1 名、40 代　男　2 名）

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ/COVID-19 定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

〇新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 401 名（定点あたり 4.77 人）の報告がありました。

〇インフルエンザは、県全体で 2,684 名（定点あたり 31.95 人）の報告がありました。

〇マイコプラズマ肺炎の報告が多くなっています。

---

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 401 名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり 3.33 → 4.77 人）。詳しくは、**「☆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報」**および岡山県感染症情報センターホームページ『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報』をご覧ください。
2. インフルエンザは、県全体で 2,684 名の報告があり、前週から大きく増加しました（定点あたり 11.02 → 31.95 人）。岡山県は 11 月 21 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図ってきたところですが、県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の 30.00 人を上回り、流行時期等から今後も流行拡大の可能性があるため、12 月 26 日に**『インフルエンザ警報』**を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。詳しくは、「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ『2024/25 年シーズン　インフルエンザ情報「インフルエンザ警報」を発令しました！』をご覧ください。
3. 梅毒は、2024 年第 51 週に 3 名の報告があり、2024 年の累計報告数は、1999 年の感染症法施行以降、過去最多の 349 名となっています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『梅毒について』をご覧ください。
4. マイコプラズマ肺炎は、県全体で 5 名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり 1.40 → 1.00 人）。この感染症は、小児や若い人の肺炎の原因として比較的多くみられ、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、せき（解熱後も長期にわたって続く）などです。詳しくは**「今週の注目感染症」**をご覧ください。

季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等

感染拡大防止のためのポイント

・基本的な感染防止策を徹底しましょう
・体調を考慮した行動に努めましょう
・適切な受診をお願いします

詳細は以下のホームページをご覧下さい。

新型コロナ保健医療情報ポータル『感染対策』(疾病感染症対策課)

流行の推移（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は別掲載）

疾病名	定点あたり患者数		推移	疾病名	定点あたり患者数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	11.02	31.95	↗	ヘルパンギーナ	0.04	0.07	↗
RSウイルス感染症	0.07	0.15	↗	流行性耳下腺炎	0.09	0.07	↘
咽頭結膜熱	0.20	0.28	↗	急性出血性結膜炎	0.00	0.08	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	1.15	↘	流行性角結膜炎	0.33	0.58	↗
感染性胃腸炎	4.06	4.11	→	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
水痘	0.09	0.07	↘	無菌性髄膜炎	0.20	0.00	↘
手足口病	0.72	0.59	↘	マイコプラズマ肺炎	1.40	1.00	↘
伝染性紅斑	0.06	0.04	↘	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
突発性発しん	0.15	0.24	↗	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00	→

【記号の説明】 前週からの推移　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↘：減少　増加・減少：前週比10%以上の増減

年末年始に海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に存在しない感染症が多くあります。
渡航先の感染症に対する予防対策が必要です。

出発前の注意

・感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。
・渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
・これまで受けた予防接種について確認し、予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

・生水、氷、カットフルーツ、サラダや生乳など、火が通っていないものを飲食することは避けましょう。
・肌の露出を少なくする、こまめに虫よけ剤を使用するなど蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。（狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。）
・帰宅後は、しっかり手洗いをしましょう。

©岡山県「ももっち・うらっち」

帰国した後に

・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

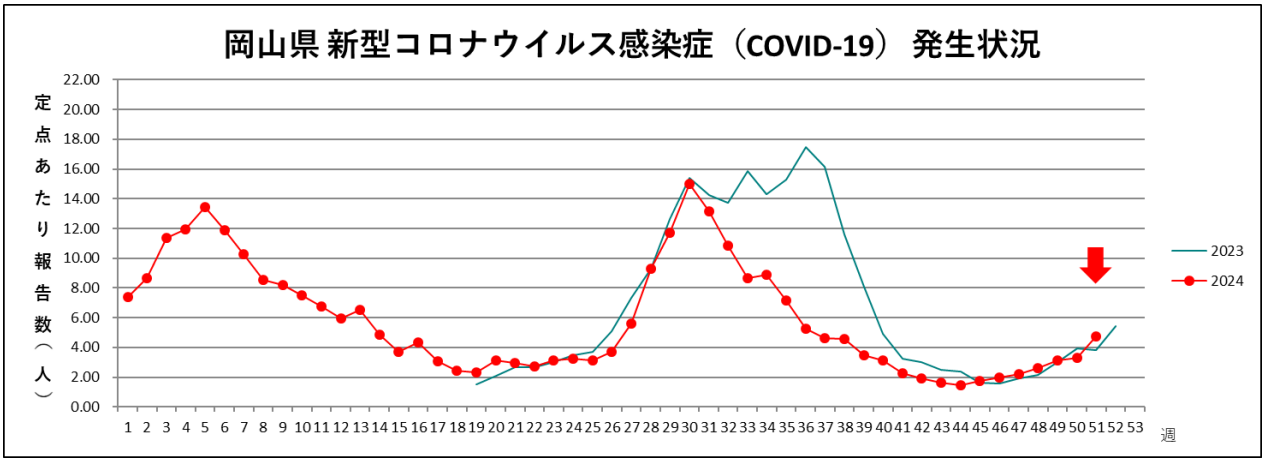
海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）

海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 FORTH）

☆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報

岡山県の流行状況（第 51 週（ 12 / 16 ～ 12 / 22 ））

○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 401 名（定点あたり 4.77 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。



※ 2023 年は定点把握対象へ移行した第 19 週から表示しています。
※ 全数把握時のデータはこちら
※ 2023 年 5 月 7 日（2023 年第 18 週）までの全数把握の患者数をもとに、2023 年 5 月 8 日以降の定点医療機関からの報告患者数を抽出して集計した患者数の推移（参考値）はこちらをご覧ください。→ 厚生労働省 HP

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 401 名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり 3.33 → 4.77 人）。地域別では、備北地域（10.00 人）、倉敷市（6.88 人）、真庭地域（6.67 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、80 代以上を除く年代で前週から増加しました。

基本的な感染防止策（効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密（密閉・密集・密接）の回避、健康的な日常生活、体調不良時の備え）に留意し、自主的な判断により実施しましょう。

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中で流行が継続している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m 以内）で感染しますが、エアロゾルは 1m を超えて空気中に留まりうることから、換気が不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。

●症状

日本で流行の主流となっているオミクロン株は、潜伏期間が 2～3 日と短く、また、発症前からウイルスを排出し、感染源となることが分かっています。上気道で増殖しやすい特性から、従来株（デルタ株等）に比べ、鼻汁・頭痛・倦怠感・咽頭痛などの風邪様症状の頻度が増加している一方で、嗅覚・味覚障害の頻度の減少が報告されています。しかしながら、肺炎が進展し、重症化する例も少なからず認められます。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。また、妊婦では妊娠後期に感染すると、早産率が高まり、患者本人も一部は重症化することが報告されています。（新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）（厚生労働省））。

●ワクチン接種について

ワクチンは新型コロナウイルス感染症にかかった場合に重症化を予防する効果があるとされています。

ワクチンの全額公費による接種は終了しましたが、令和 6 年 10 月から次の方を対象にお住まいの市町村による定期接種が始まりました。

・65 歳以上の方
・60～64 歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

詳しくは以下をご覧ください。

・新型コロナワクチンについて（厚生労働省）
・新型コロナワクチンについて（岡山県疾病感染症対策課）

なお、罹患後症状（いわゆる後遺症）については、以下をご覧ください。

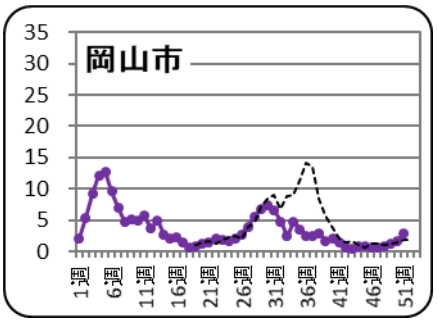
・罹患後症状のマネジメント・第 3.0 版（2023 年 10 月 20 日発行）
・『新型コロナウイルス感染症罹患後も続く症状（後遺症）にお悩みの方へ』（岡山県ホームページ）

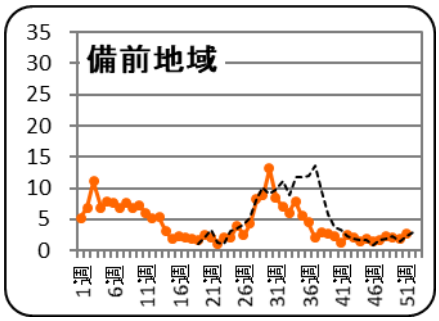
1.　地域別発生状況

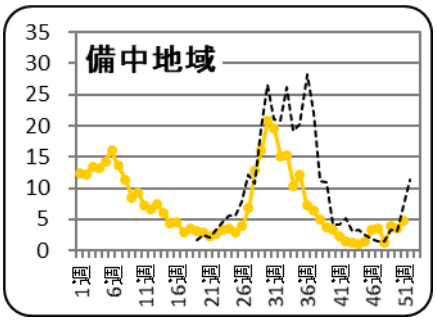
地域名	発生状況（人）		推移	地域名	発生状況（人）		推移
岡山県全体	**患 者 数**	**401**	↗	備　中	患 者 数	57	↗
	定点あたり	**4.77**			定点あたり	4.75	
岡山市	患 者 数	64	↗	備　北	患 者 数	60	↗
	定点あたり	2.91			定点あたり	10.00	
倉敷市	患 者 数	110	↗	真　庭	患 者 数	20	↑
	定点あたり	6.88			定点あたり	6.67	
備　前	患 者 数	40	↗	美　作	患 者 数	50	↗
	定点あたり	2.67			定点あたり	5.00	

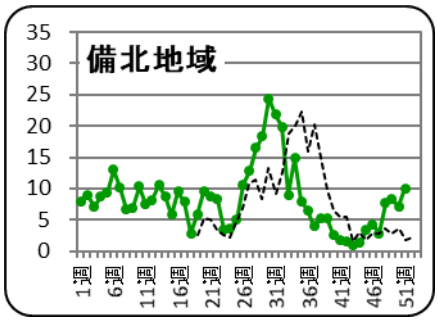
【記号の説明】前週からの推移　↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↘：減少　↓：大幅な減少

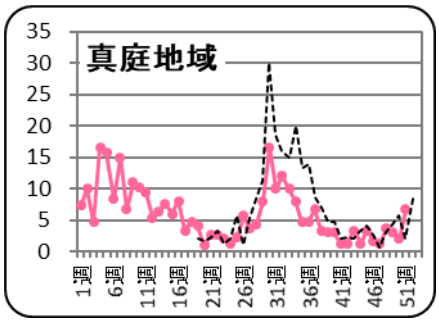
大幅：前週比 100%以上の増減　　増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

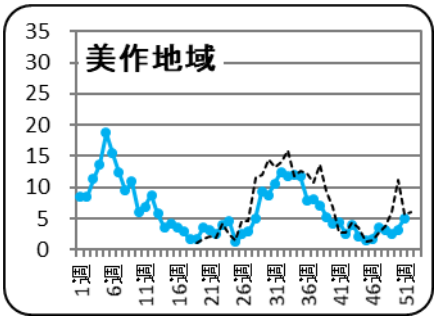


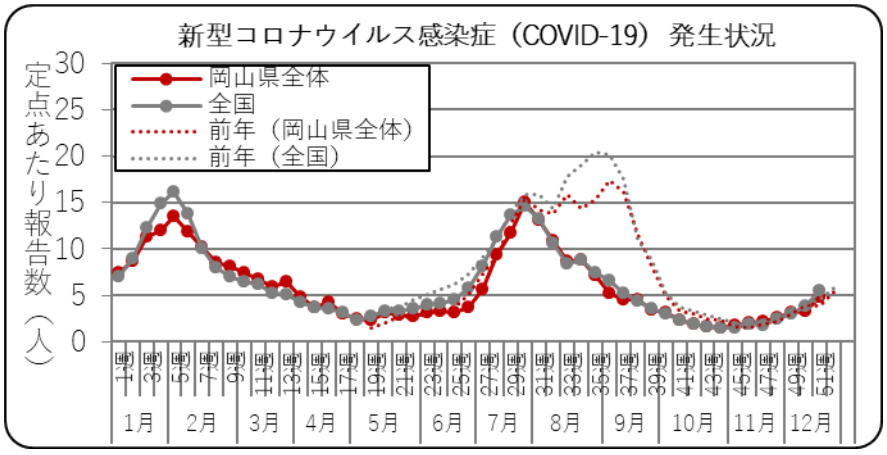












※前年データは破線で示しています。

〇全国の発生状況

全国集計 2024 年第 51 週速報値（2024 年 12 月 25 日時点）によると、全国の定点あたり報告数は 5.48 人となり、前週から増加しました。

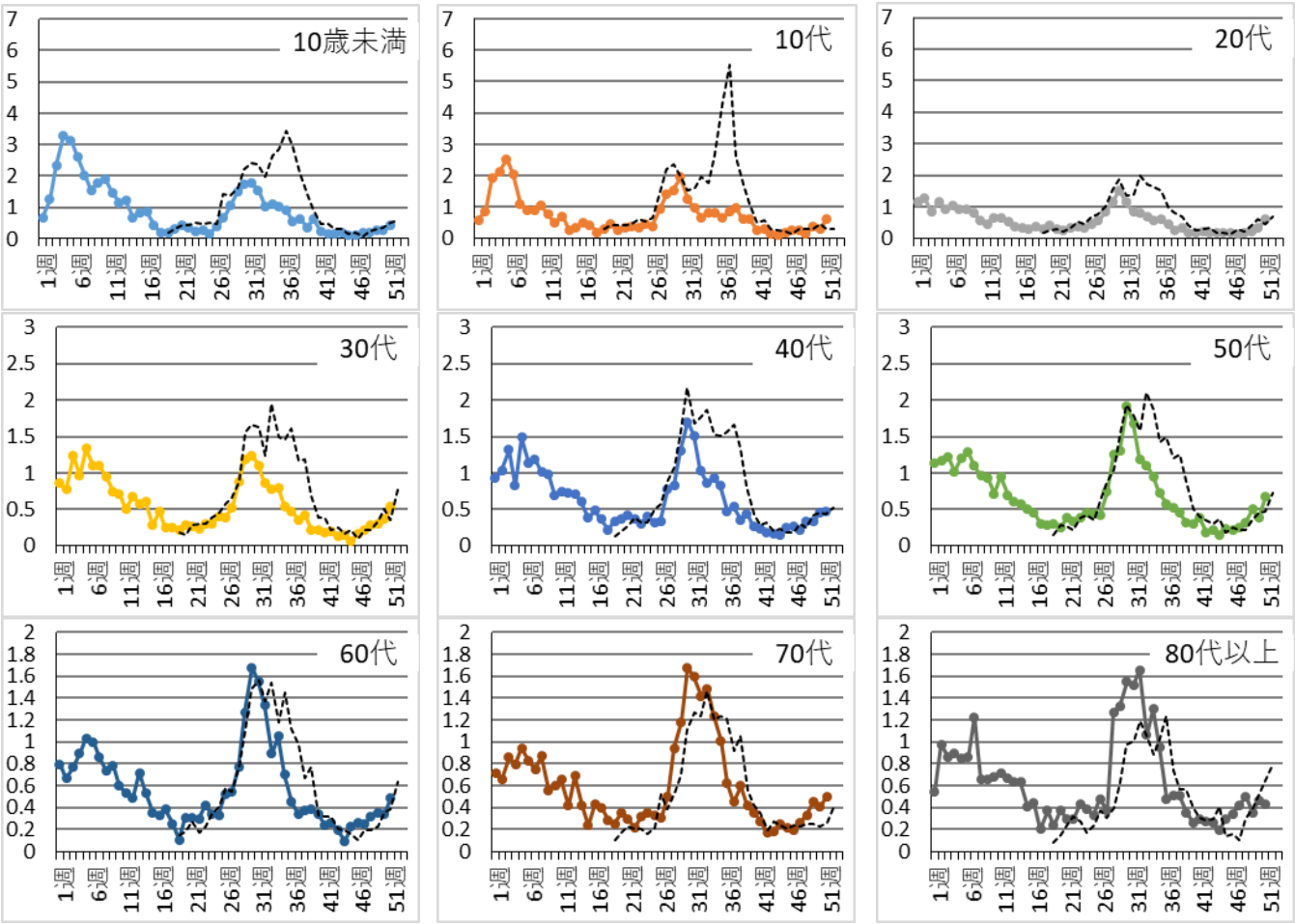
新型コロナウイルス感染症の国内発生状況等について（厚生労働省）

2.　年齢別発生状況

〇第 51 週　（単位：名）

合計	0-3歳	4-6歳	7-9歳	10-14歳	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
401	22	9	6	35	18	50	45	40	57	41	42	36

〇年齢階級別の定点あたり報告数の推移



※前年データは破線で示しています。

留意点：年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点（54 医療機関）が内科定点（30 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。一方で、年齢階級別の報告数により、経時的な流行全体の傾向（トレンド）と水準（レベル）の把握および年齢階級ごとにおける流行の傾向と水準を把握することができます。

3.　新型コロナウイルス検出状況（ゲノム解析）

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

〇岡山県の状況

→　新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）

〇全国の状況

→　SARS-CoV-2 変異株について（国立感染症研究所）

4.　入院状況

【入院基幹定点サーベイランス】

基幹定点医療機関（岡山県の基幹定点数：5）から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者数等の報告（週単位）を受けて、入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的としています。2023 年 9 月 25 日（第 39 週）から開始しました（インフルエンザについても同様のサーベイランスが既に行われています。）。

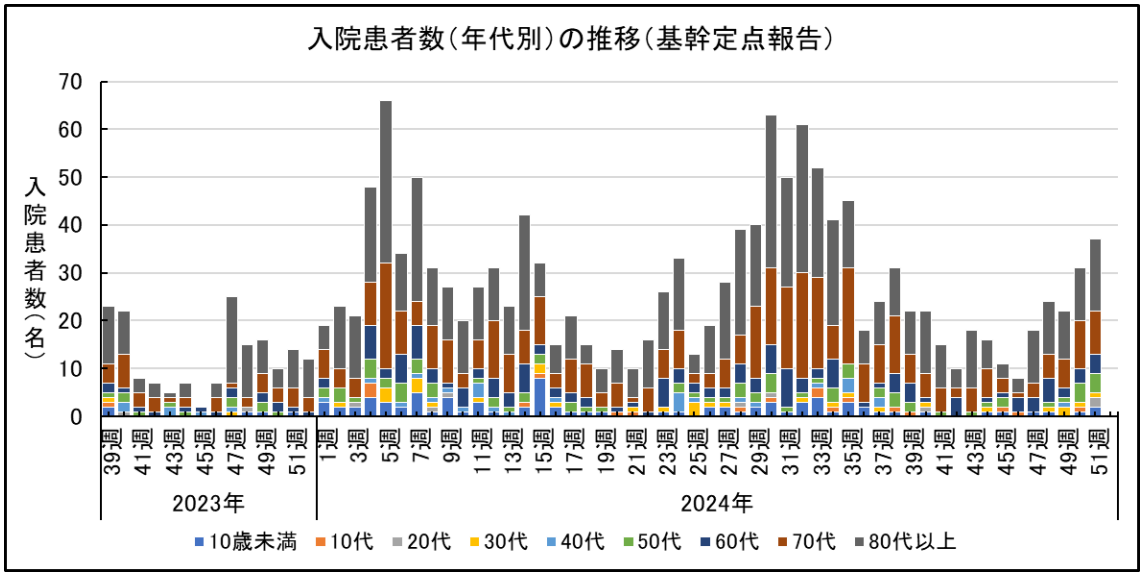
○入院基幹定点サーベイランス（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

【第 51 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計＊
入院患者数		**2**				**2**	**1**		**4**	**4**	**9**	**15**	**37**
ICU入室＊													
人工呼吸器の利用＊												2	2
いずれにも該当せず		2				2	1		4	4	9	13	35

＊重複あり

【入院患者数（年代別）の推移】



今週の注目感染症

☆マイコプラズマ肺炎

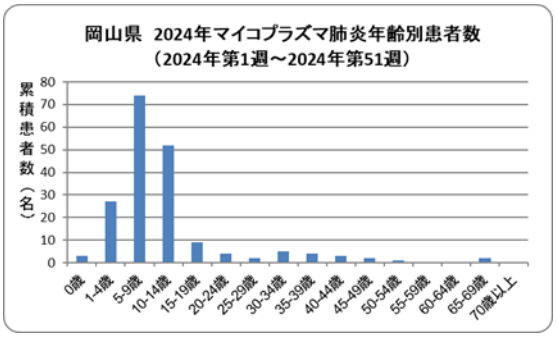
●マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多くみられ、例年、患者の 6～8 割は 14 歳以下です。マイコプラズマ肺炎は 1 年を通じて発生しますが、秋冬に増加する傾向があります。

感染経路は、飛沫感染や接触感染であり、家庭のほか、学校などでも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3 週間とされています。

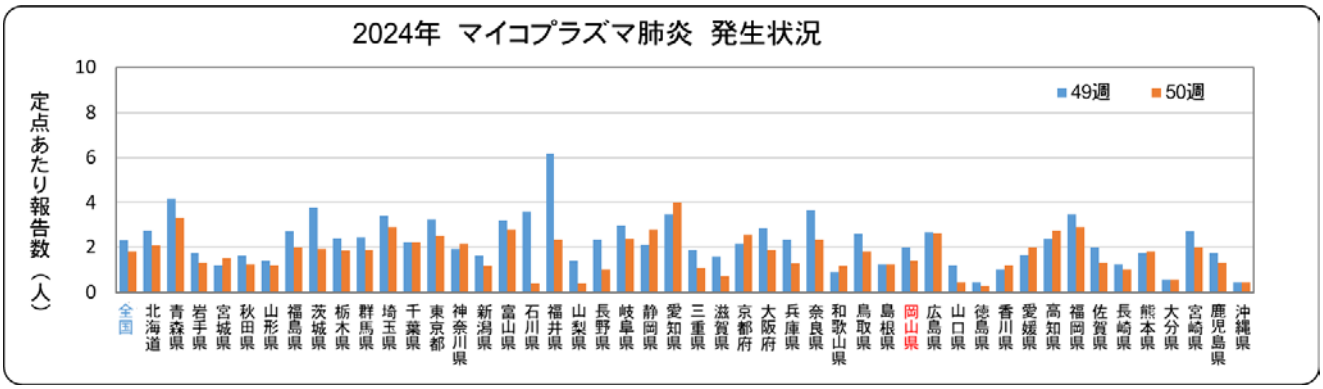
主な症状は発熱や全身の倦怠感、頭痛、せきなどです。せきは遅れて始まることもあり、熱が下がった後も長期にわたって（3～4 週間）続くのが特徴です。多くの人は気管支炎程度の軽い症状で済みますが、一部の人は肺炎を発症し、重症化します。また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などを併発する症例も報告されています。

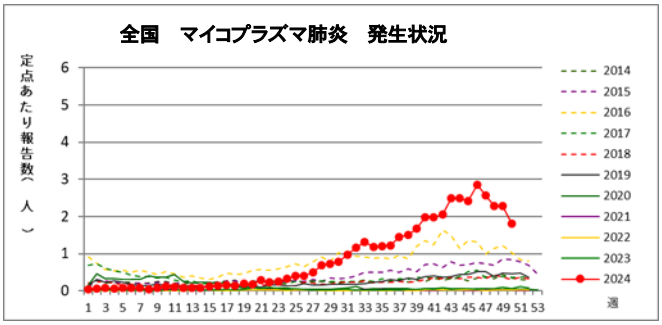
●発生状況

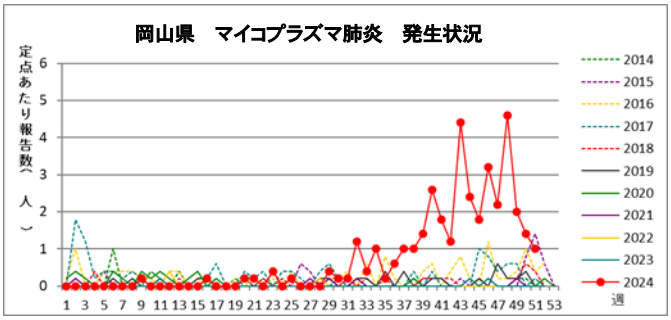


全国の第 50 週（12/9 ～ 12/15）のマイコプラズマ肺炎の報告数は前週から減少しましたが（定点あたり 2.29→1.81 人）、過去 10 年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では愛知県（4.00 人）、青森県（3.33 人）、福岡県（2.93 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

岡山県では第 51 週（12/16 ～ 12/22 ）は県全体で 5 名の報告があり（5 定点医療機関報告）、前週から減少しました（定点あたり 1.40 → 1.00 人）。地域別では、岡山市で 3 名、倉敷市で 2 名の報告がありました。年齢別では、第 51 週までで 14 歳以下が全体の 83%を占めています。







●治療・予防方法

マクロライド系などの抗菌薬で治療します（成人で、肺炎を伴わない気管支炎であれば、抗菌薬による治療を行わないことが推奨されています）。また、マクロライド系抗菌薬が効かない「耐性菌」に感染した場合は他の抗菌薬で治療します。

予防としては、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、せっけんや流水による手洗いの実施、マスク着用を含む咳エチケットなどの一般的な感染防止策が効果的とされています。

せきが長引くなどの症状がある時は、医療機関を受診するようにしましょう。

詳しくはこちらをご覧ください⇒マイコプラズマ肺炎（厚生労働省）
マイコプラズマ肺炎に関する Q&A（厚生労働省）
マイコプラズマ肺炎とは（国立感染症研究所）

風しんの抗体検査（無料）を受けましょう！

＜妊娠を希望する女性や同居する家族の方＞

岡山県・岡山市・倉敷市では、**先天性風しん症候群（CRS）**※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市･倉敷市以外 → 風しんの無料抗体検査が受けられます　（岡山県疾病感染症対策課）

岡山市 → 風しんの無料抗体検査

倉敷市 → 風しん抗体検査について　　をご覧ください。

＜1962(昭和 37)年４月２日から 1979(昭和 54)年４月１日までに生まれた男性＞

風しんの抗体保有率が低い 1962 年４月２日から 1979 年４月１日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています（**2025 年３月 31 日まで**）。

以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト

※妊娠初期に風しんにり患すると、出生児に**先天性風しん症候群（CRS）**と総称される障がいを引き起こすことがあります。**先天性心疾患、難聴、白内障が３大症状**です。

岡山県の 2019 年４月～2024 年８月の風しんのクーポン使用実績（抗体検査）は、35.4%と未だに低い状況です！

CRS を防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

風しんの追加的対策について（厚生労働省）
風疹に関する疫学情報（国立感染症研究所）
“風疹ゼロ”プロジェクト（日本産婦人科医会）

© 岡山県「ももっち・うらっち」

2024 年 12 月 27 日

インフルエンザ週報　2024 年 第５１週（12 月 16 日 ～ 12 月 22 日）

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました（12月26日）

【お知らせ】次週、2024 年第 52 週（12/23～12/29）のインフルエンザ週報は、2025 年 1 月 10 日（金）にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

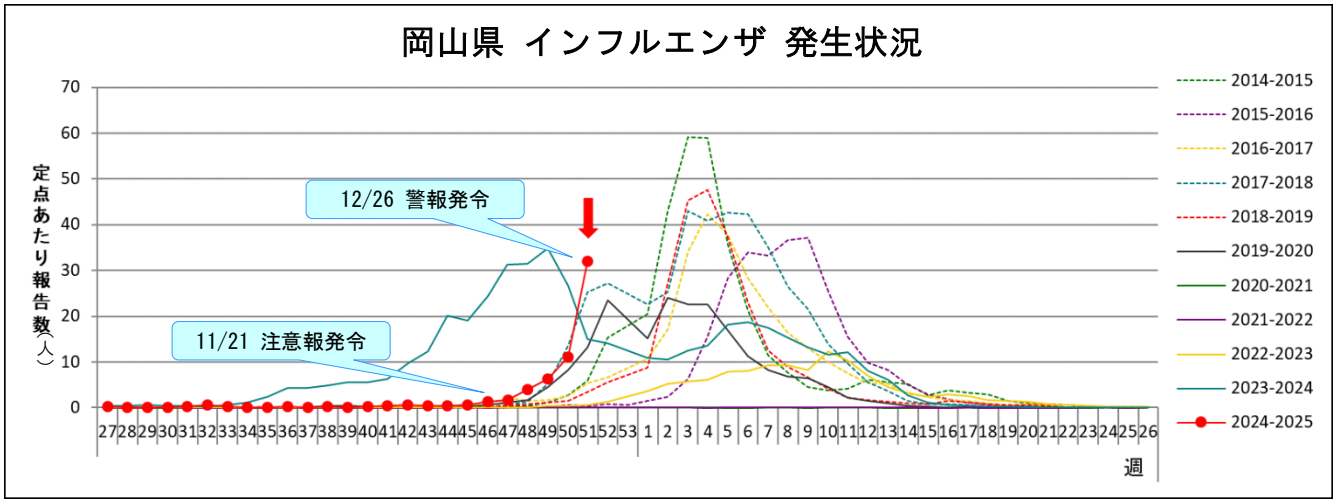
○インフルエンザは、県全体で 2,684 名（定点あたり 31.95 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 90 施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者 19 名の報告がありました。

【第 52 週　速報】

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 25 施設でありました（12 月 23 日～25 日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ～ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 2,684 名の報告があり、前週から大きく増加しました（定点あたり 11.02 → 31.95 人）。

岡山県は 11 月 21 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図ってきたところですが、県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の 30.00 人を上回り、流行時期等から今後も流行拡大の可能性があるため、12 月 26 日に**『インフルエンザ警報』**を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市（39.63 人）、備中地域（38.25 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、人混みを避ける）、健康的な日常生活、あらかじめの備え（早めのワクチン接種）等に留意し、感染予防・感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【感染防止策の徹底】
- 場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ換え
- 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- 十分な休養、バランスのとれた食事

【予防接種を検討中の方は早めの接種を】

特に高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方は、インフルエンザワクチンの接種を検討しましょう

（ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た時は】
- 早めに医療機関を受診する
- 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
- 水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒　詳細は岡山県ホームページ『インフルエンザ対策について』をご覧ください。

1.　地域別発生状況

地域名	発生状況（人）		推移	地域名	発生状況（人）		推移
岡山県全体	**患 者 数**	**2,684**	↑	備　中	患 者 数	459	↑
	定点あたり	**31.95**			定点あたり	38.25	
岡山市	患 者 数	667	↑	備　北	患 者 数	118	↑
	定点あたり	30.32			定点あたり	19.67	
倉敷市	患 者 数	634	↑	真　庭	患 者 数	79	↑
	定点あたり	39.63			定点あたり	26.33	
備　前	患 者 数	439	↑	美　作	患 者 数	288	↑
	定点あたり	29.27			定点あたり	28.80	

【記号の説明】前週からの推移　↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↘：減少　↓：大幅な減少

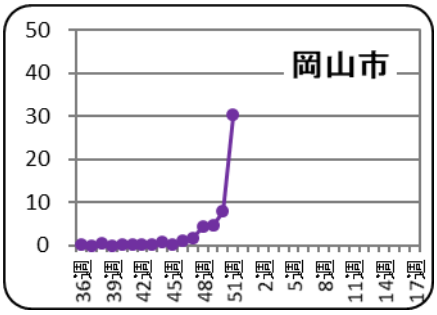
大幅：前週比 100%以上の増減　　増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

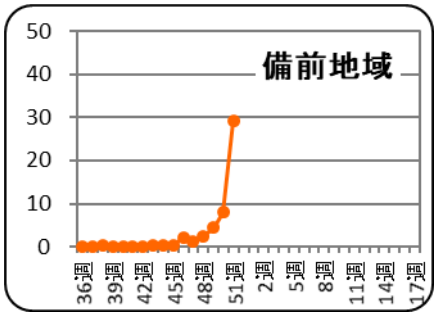
インフルエンザ感染症マップ

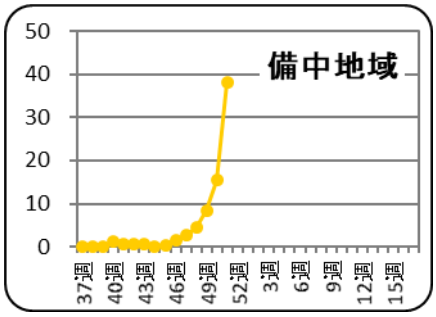
＜インフルエンザ発生レベル 基準＞

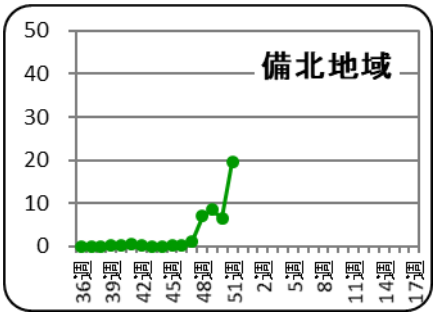
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

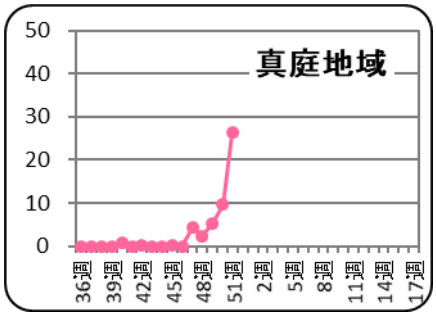
レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 く 10 未満	0

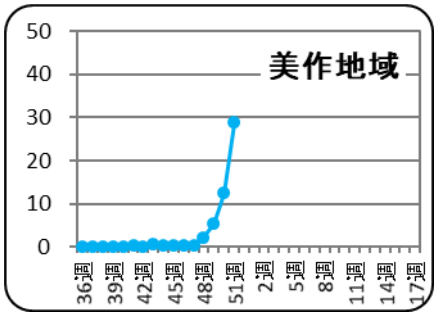


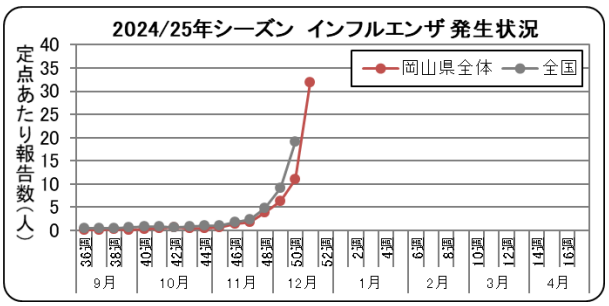










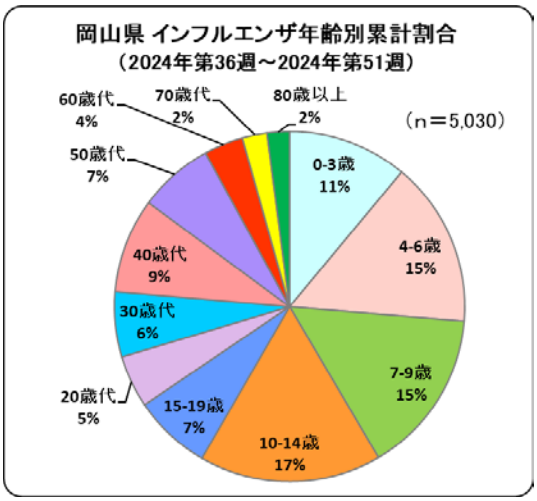


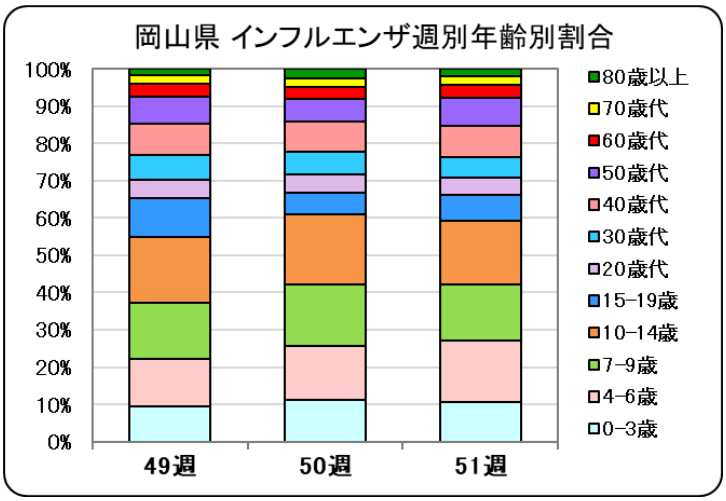
全国集計 2024 年第 50 週（12/9～12/15）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 19.06 人となりました。

都道府県別では、大分県（37.22 人）、福岡県（35.40 人）、鹿児島県（29.00 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で前週の報告数から増加しました。

インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）

2.　年齢別発生状況





留意点：年齢階級別の報告数の考え方について

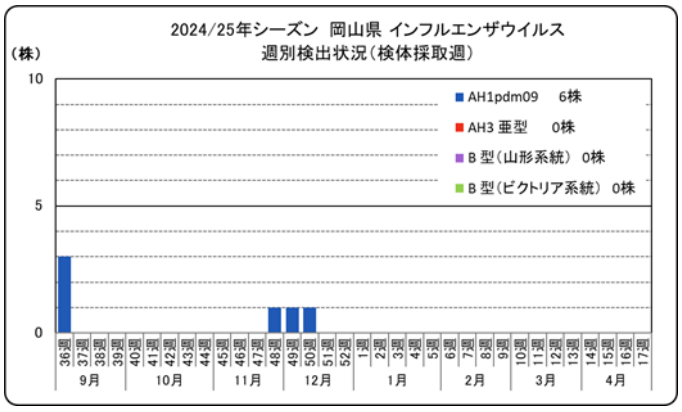
定点医療機関は、小児科定点（54 医療機関）が内科定点（30 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3.　インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2024 年第 51 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 2 株（詳細は下表参照）でした。

今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 6 株で、全てが AH1pdm09 となっています。

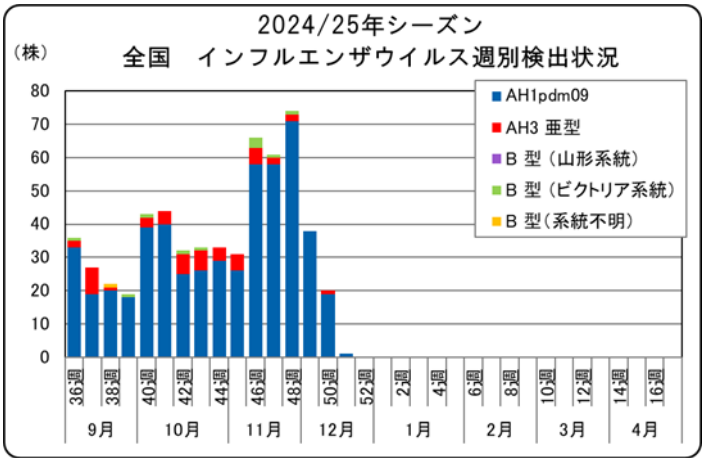


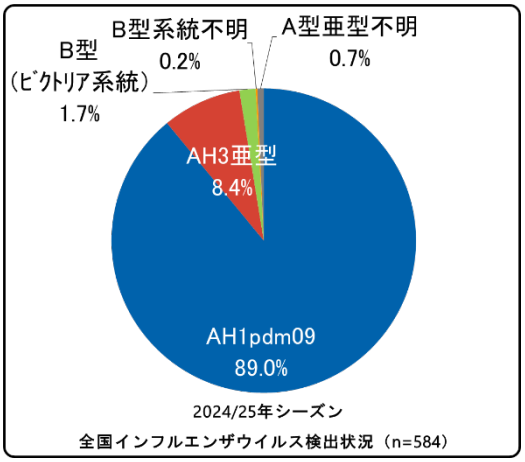
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2024年第49週(12/2～12/8)	2024/12/2	岡山市	50代	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2024年第50週(12/9～12/15)	2024/12/11	岡山市	30代	男	

【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 520 株、AH3 亜型が 49 株、B 型（ビクトリア系統）が 10 株、A 型亜型不明が 4 株、B 型系統不明が 1 株となっています（12 月 24 日現在）。

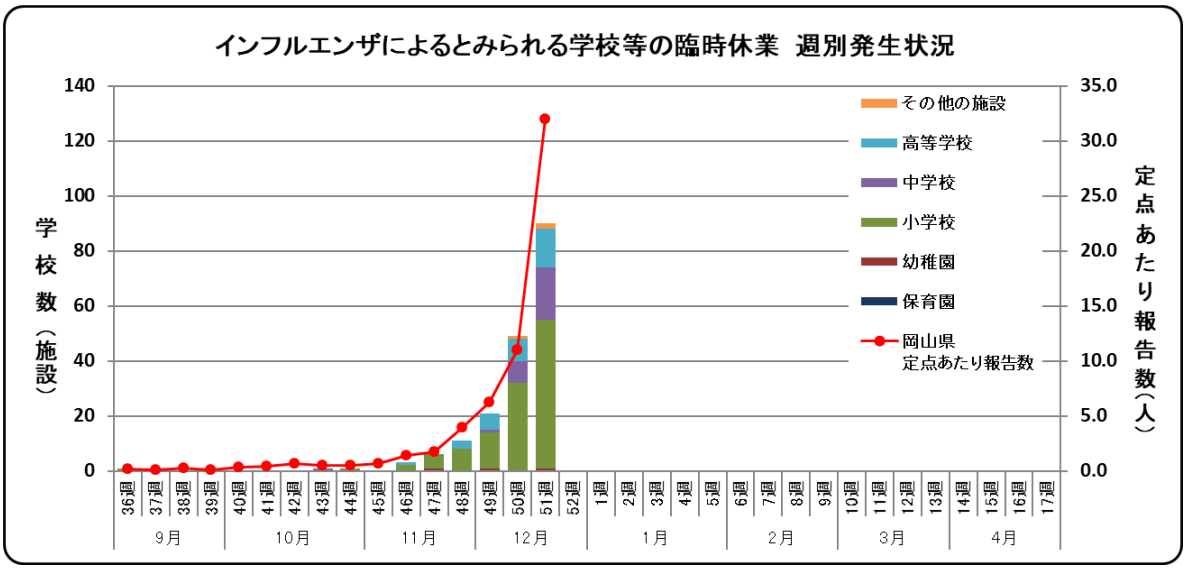
インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）





4.　インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、90 施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 51 週	0	1	54	19	14	2	**90**
累計	0	3	116	29	32	3	**183**

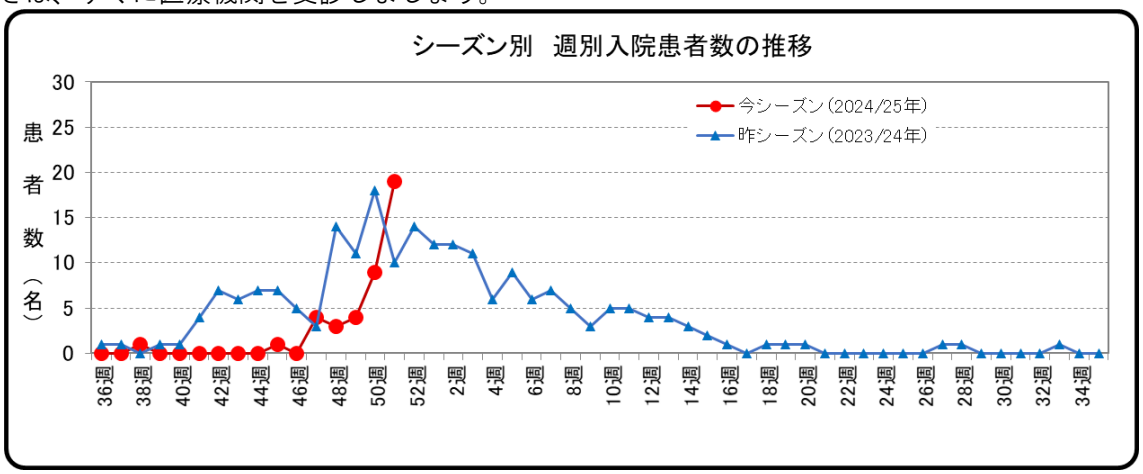
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→　（Ｒ６年度シーズン）岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業

5.　インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、19 名（1 歳未満 1 名、1～4 歳 1 名、5～9 歳 4 名、40～49 歳 1 名、50～59 歳 1 名、60～69 歳 5 名、70～79 歳 3 名、80 歳以上 3 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 51 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計＊
入院患者数	**1**	**1**	**4**					**1**	**1**	**5**	**3**	**3**	**19**
ICU 入室 ＊			1						1				2
人工呼吸器の利用 ＊			1						1				2
頭部 CT 検査(予定含)＊									1			1	2
頭部 MRI 検査(予定含)＊			2									1	3
脳波検査（予定含)＊													
いずれにも該当せず	1	1	1					1		5	3	2	14

＊ 重複あり

【2024 年 9 月 2 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計＊
入院患者数	**2**	**6**	**6**	**1**	**1**			**1**	**4**	**8**	**5**	**7**	**41**
ICU 入室 ＊			2						1	2			5
人工呼吸器の利用 ＊			1						1				2
頭部 CT 検査(予定含) ＊			1	1					1			1	4
頭部 MRI 検査(予定含) ＊		2	2									1	5
脳波検査（予定含）＊		1		1									2
いずれにも該当せず	2	4	2		1			1	3	6	5	6	30

＊ 重複あり

令和６年度　インフルエンザ Q&A（厚生労働省）
令和６年度　今シーズンのインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）

保健所別報告患者数　2024年 51週（定点把握）　（ 2024/12/16～2024/12/22 ）

2024年12月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2684	31.95	667	30.32	634	39.63	439	29.27	459	38.25	118	19.67	79	26.33	288	28.80
RSウイルス感染症	8	0.15	4	0.29	1	0.09	1	0.10	–	–	–	–	1	0.50	1	0.17
咽頭結膜熱	15	0.28	3	0.21	9	0.82	2	0.20	–	–	–	–	–	–	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	14	1.00	12	1.09	8	0.80	23	3.29	–	–	3	1.50	2	0.33
感染性胃腸炎	222	4.11	81	5.79	38	3.45	38	3.80	21	3.00	13	3.25	–	–	31	5.17
水痘	4	0.07	2	0.14	1	0.09	–	–	1	0.14	–	–	–	–	–	–
手足口病	32	0.59	20	1.43	4	0.36	2	0.20	–	–	–	–	–	–	6	1.00
伝染性紅斑	2	0.04	2	0.14	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
突発性発疹	13	0.24	5	0.36	5	0.45	1	0.10	1	0.14	–	–	–	–	1	0.17
ヘルパンギーナ	4	0.07	1	0.07	3	0.27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性耳下腺炎	4	0.07	1	0.07	1	0.09	1	0.10	1	0.14	–	–	–	–	–	–
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	–	–	–	–	–	–					–	–
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	3	0.75	–	–	–	–					–	–
細菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–					–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–					–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	5	1.00	3	3.00	2	2.00					–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎	–	–	–	–	–	–					–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	–	–	–	–	–	–					–	–	–	–	–	–

（ – ： 0 or 0.00 ）　（ 空白 ： 定点なし ）

保健所別報告患者数　2024年 51週（発生レベル設定疾患）　（ 2024/12/16～2024/12/22 ）

2024年12月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2684	31.95	667	30.32	634	39.63	439	29.27	459	38.25	118	19.67	79	26.33	288	28.80
咽頭結膜熱	15	0.28	3	0.21	9	0.82	2	0.20	–	–	–	–	–	–	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	14	1.00	12	1.09	8	0.80	23	3.29	–	–	3	1.50	2	0.33
感染性胃腸炎	222	4.11	81	5.79	38	3.45	38	3.80	21	3.00	13	3.25	–	–	31	5.17
水痘	4	0.07	2	0.14	1	0.09	–	–	1	0.14	–	–	–	–	–	–
手足口病	32	0.59	20	1.43	4	0.36	2	0.20	–	–	–	–	–	–	6	1.00
伝染性紅斑	2	0.04	2	0.14	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ヘルパンギーナ	4	0.07	1	0.07	3	0.27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性耳下腺炎	4	0.07	1	0.07	1	0.09	1	0.10	1	0.14	–	–	–	–	–	–
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	–	–	–	–	–	–					–	–
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	3	0.75	–	–	–	–					–	–

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

（－： 0 or 0.00 ）　（ 空白 ： 定点なし ）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2024年　第51週　 2024/12/16～2024/12/22 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2684	10	26	83	89	80	146	131	162	132	139	132	457	186	125	147	229	202	91	63	54

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	8	1	2	4	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–
咽頭結膜熱	15	–	–	1	1	3	2	1	–	3	2	1	–	1	–
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	–	–	4	5	6	4	12	5	12	4	3	7	–	–
感染性胃腸炎	222	4	11	20	24	14	24	21	16	7	15	12	30	2	22
水痘	4	1	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	1	–	–
手足口病	32	–	1	5	3	6	6	5	3	–	–	–	3	–	–
伝染性紅斑	2	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–
突発性発疹	13	–	1	8	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ヘルパンギーナ	4	–	–	2	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性耳下腺炎	4	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	1	–	–

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
流行性角結膜炎	7	–	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–	–	3	1	–	1	–

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	5	–	–	2	1	1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

（ – ： 0 ）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19） 報告患者数 2024年 51週（定点把握） （ 2024/12/16～2024/12/22 ） 2024年12月26日

保健所別

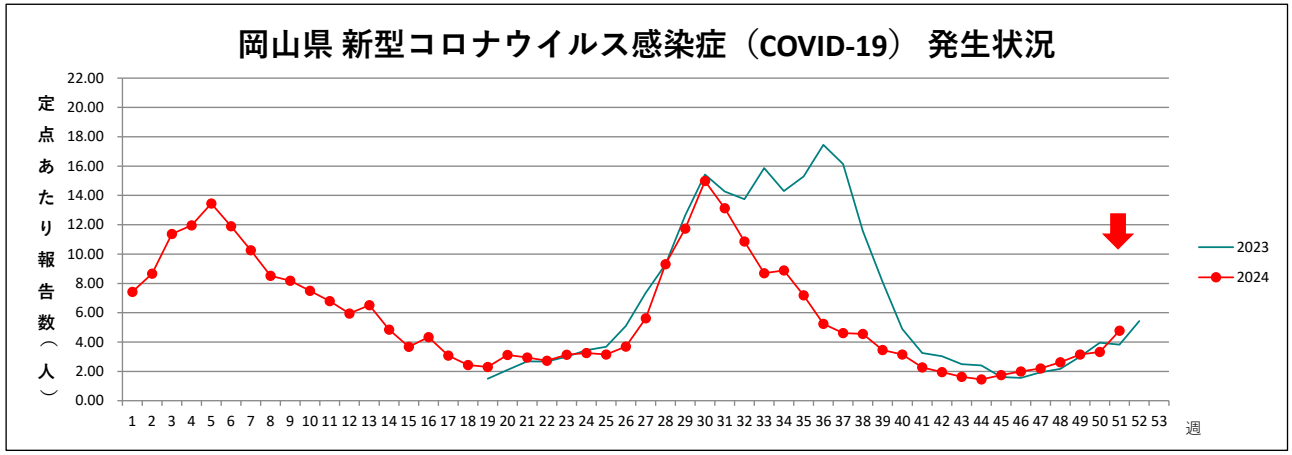
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	401	4.77	64	2.91	110	6.88	40	2.67	57	4.75	60	10.00	20	6.67	50	5.00

（－： 0 or 0.00 ）

年齢別

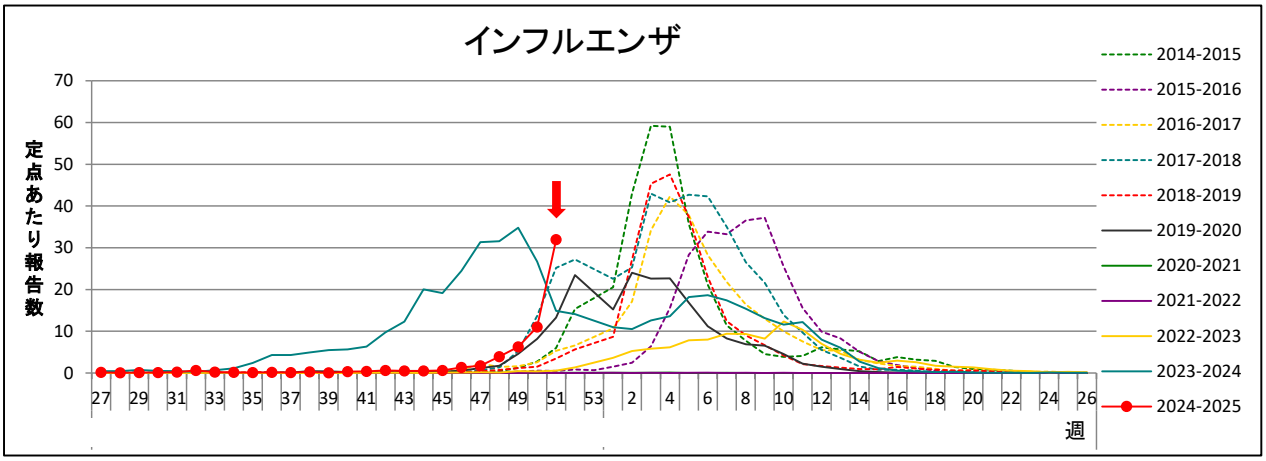
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	401	5	6	6	3	2	2	3	4	2	3	1	35	18	50	45	40	57	41	42	36

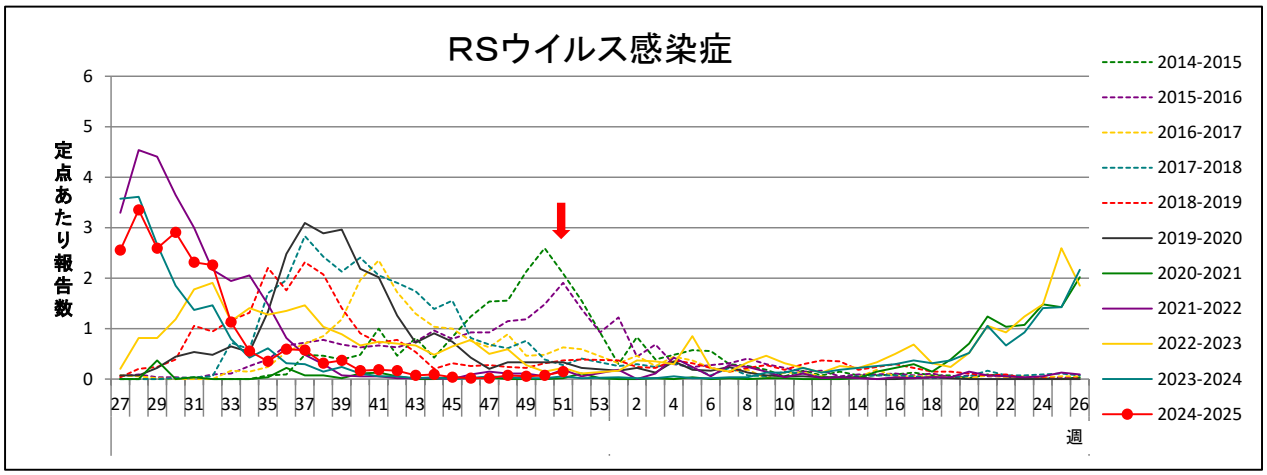
（－： 0 ）

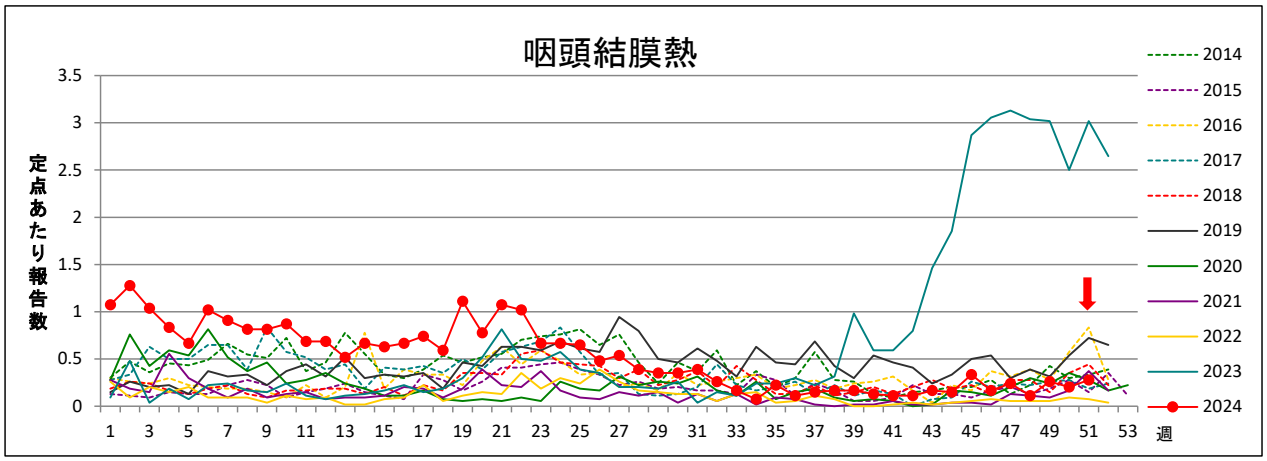


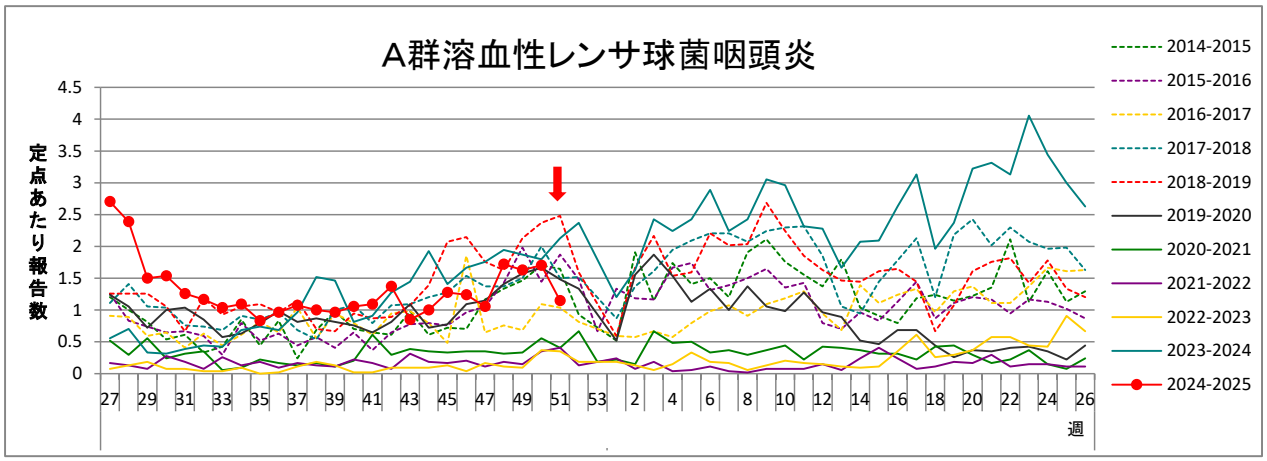
全数把握 感染症患者発生状況　2024 年 51 週

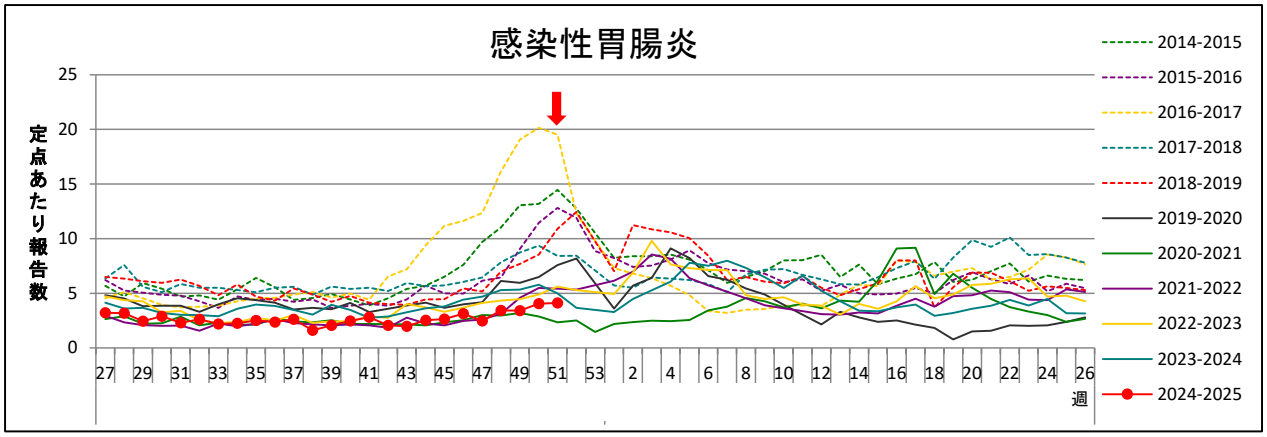
分類	疾病名	2024 今週	2024 累計	2023 昨年	疾病名	2024 今週	2024 累計	2023 昨年	疾病名	2024 今週	2024 累計	2023 昨年
一類	エボラ出血熱	−	−	−	クリミア・コンゴ出血熱	−	−	−	痘そう	−	−	−
	南米出血熱	−	−	−	ペスト	−	−	−	マールブルグ病	−	−	−
	ラッサ熱	−	−	−								
二類	急性灰白髄炎	−	−	−	結核	7	242	211	ジフテリア	−	−	−
	重症急性呼吸器症候群	−	−	−	中東呼吸器症候群	−	−	−	鳥インフルエンザ（H5N1）	−	−	−
	鳥インフルエンザ（H7N9）	−	−	−								
三類	コレラ	−	−	−	細菌性赤痢	−	1	1	腸管出血性大腸菌感染症	−	62	104
	腸チフス	−	2	1	パラチフス	−	−	−				
四類	E型肝炎	−	1	2	ウエストナイル熱	−	−	−	A型肝炎	−	4	−
	エキノコックス症	−	−	−	エムポックス	−	−	1	黄熱	−	−	−
	オウム病	−	−	1	オムスク出血熱	−	−	−	回帰熱	−	−	−
	キャサヌル森林病	−	−	−	Q熱	−	−	−	狂犬病	−	−	−
	コクシジオイデス症	−	−	−	ジカウイルス感染症	−	−	−	重症熱性血小板減少症候群	−	1	4
	腎症候性出血熱	−	−	−	西部ウマ脳炎	−	−	−	ダニ媒介脳炎	−	−	−
	炭疽	−	−	−	チクングニア熱	−	−	−	つつが虫病	−	−	4
	デング熱	−	−	−	東部ウマ脳炎	−	−	−	鳥インフルエンザ	−	−	−
	ニパウイルス感染症	−	−	−	日本紅斑熱	−	21	13	日本脳炎	−	−	−
	ハンタウイルス肺症候群	−	−	−	Bウイルス病	−	−	−	鼻疽	−	−	−
	ブルセラ症	−	−	−	ベネズエラウマ脳炎	−	−	−	ヘンドラウイルス感染症	−	−	−
	発しんチフス	−	−	−	ボツリヌス症	−	−	−	マラリア	−	−	−
	野兎病	−	−	−	ライム病	−	−	−	リッサウイルス感染症	−	−	−
	リフトバレー熱	−	−	−	類鼻疽	−	−	−	レジオネラ症	−	41	50
	レプトスピラ症	−	−	−	ロッキー山紅斑熱	−	−	−				
五類	アメーバ赤痢	−	9	11	ウイルス性肝炎	−	5	4	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	−	34	28
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	−	3	1	急性脳炎	1	12	11	クリプトスポリジウム症	−	−	−
	クロイツフェルト・ヤコブ病	−	1	−	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	−	30	10	後天性免疫不全症候群	−	7	5
	ジアルジア症	−	1	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	−	11	10	侵襲性髄膜炎菌感染症	−	3	−
	侵襲性肺炎球菌感染症	−	34	35	水痘（入院例に限る。）	−	11	5	先天性風しん症候群	−	−	−
	梅毒	3	349	316	播種性クリプトコックス症	−	5	2	破傷風	−	−	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	−	−	−	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	−	−	2	百日咳	−	19	22
	風しん	−	−	−	麻しん	−	−	−	薬剤耐性アシネトバクター感染症	−	−	2

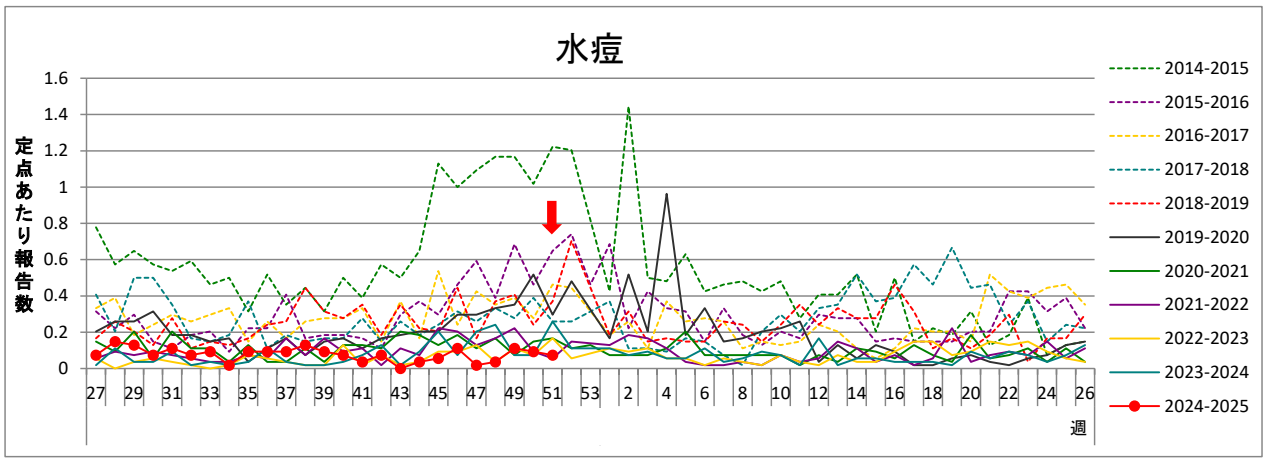

インフルエンザ
定点あたり報告数
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

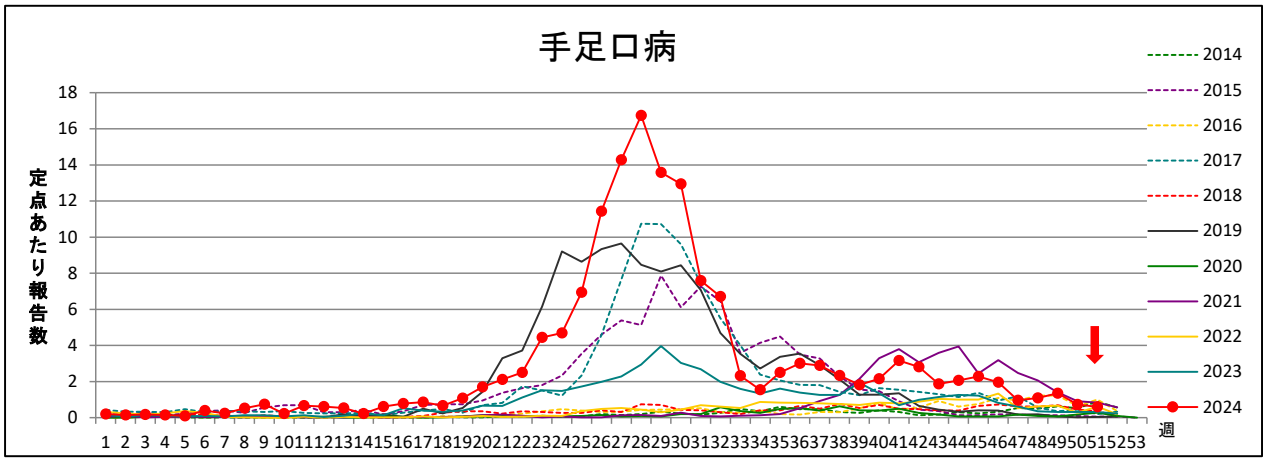

RSウイルス感染症
定点あたり報告数
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

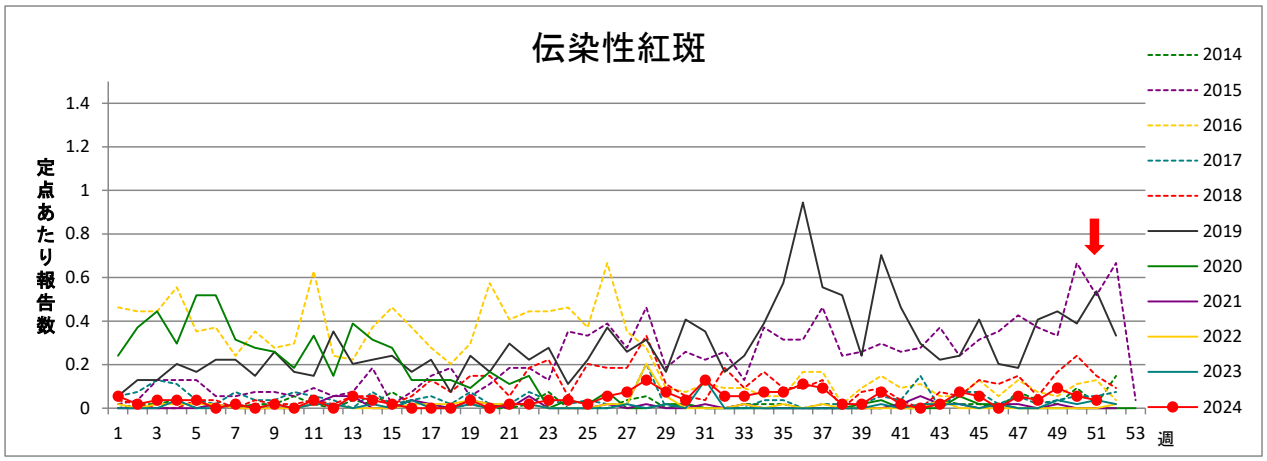

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

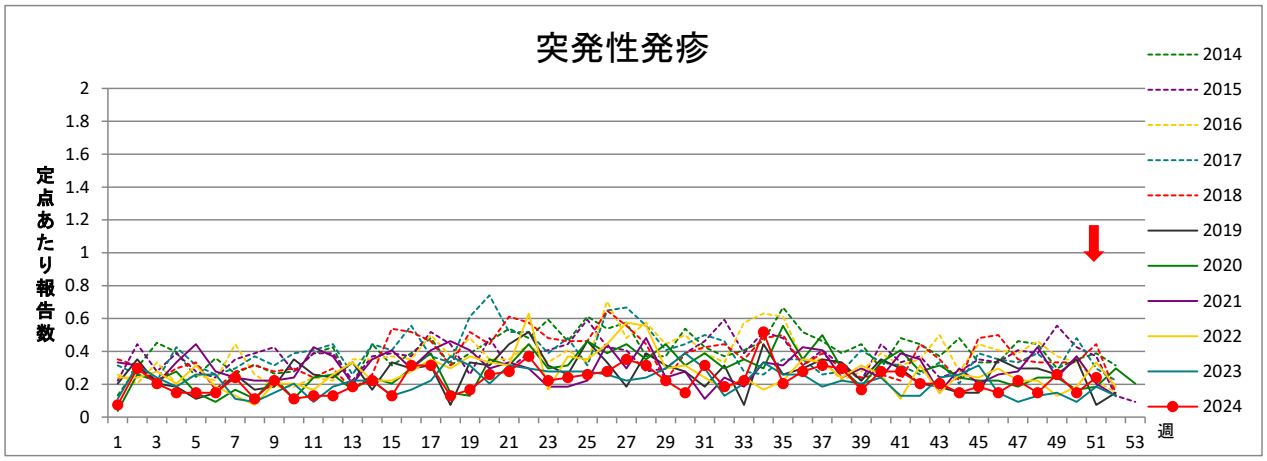

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

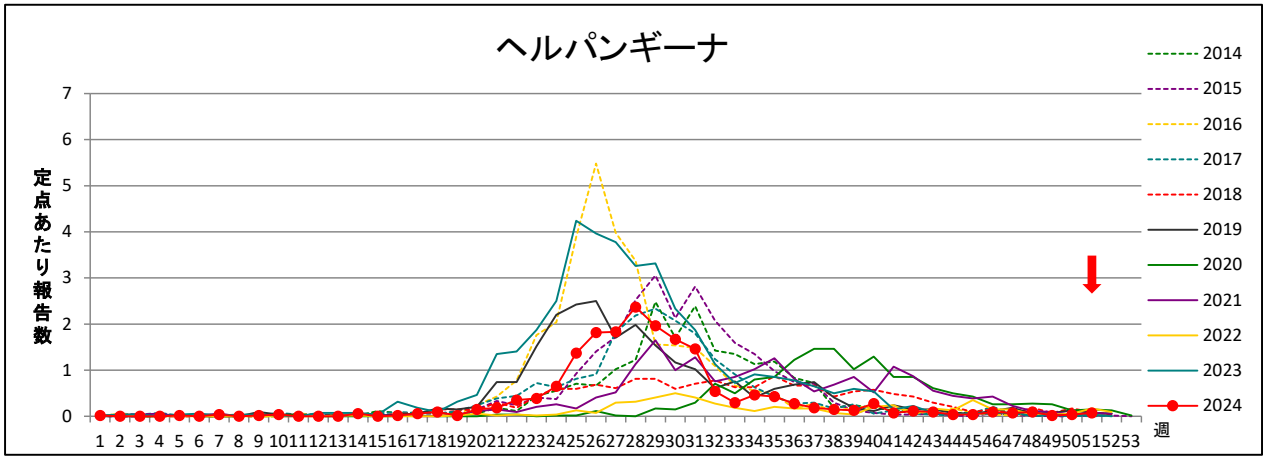

感染性胃腸炎
定点あたり報告数
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

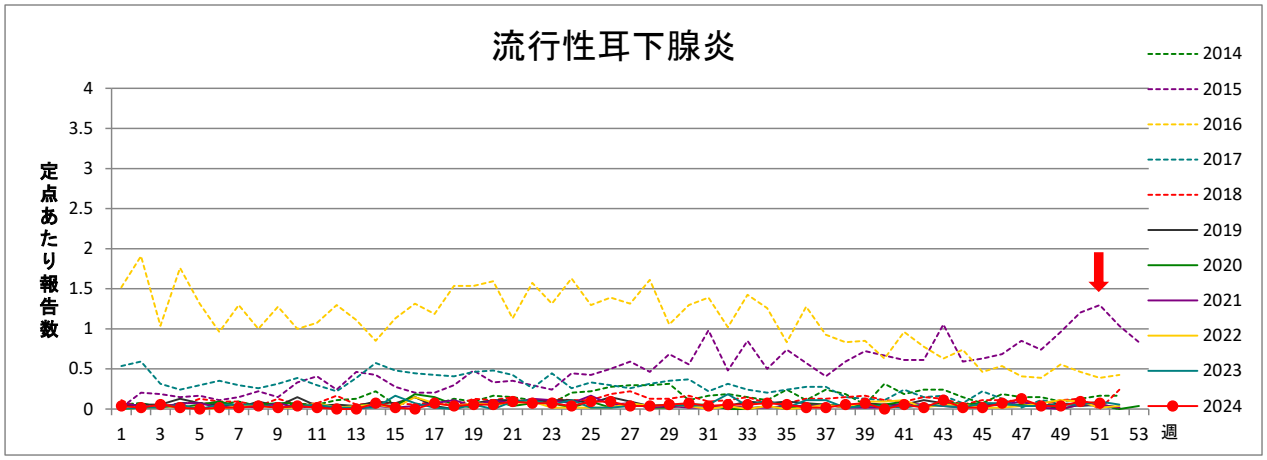

水痘
定点あたり報告数
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

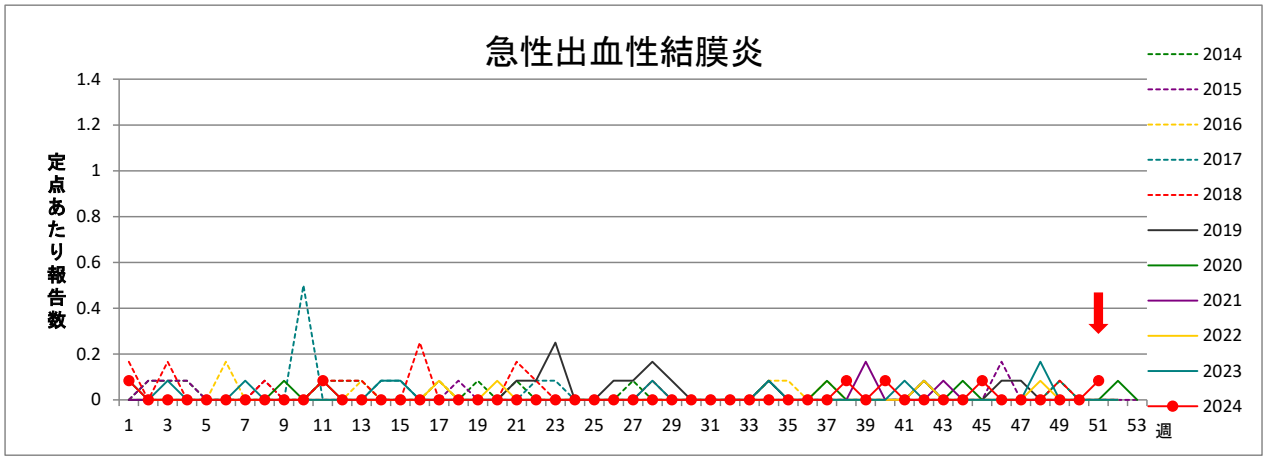

手足口病
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

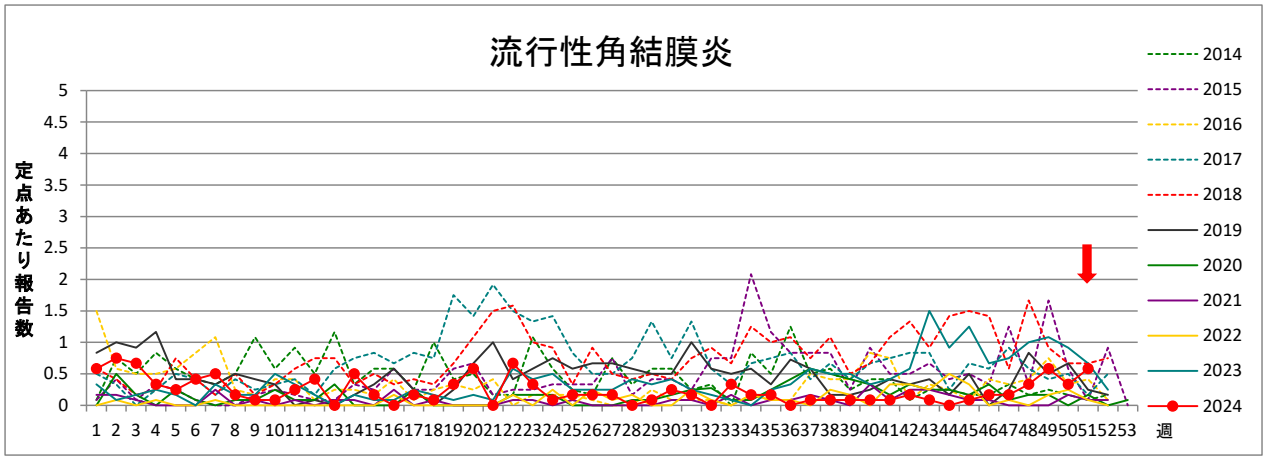

伝染性紅斑
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

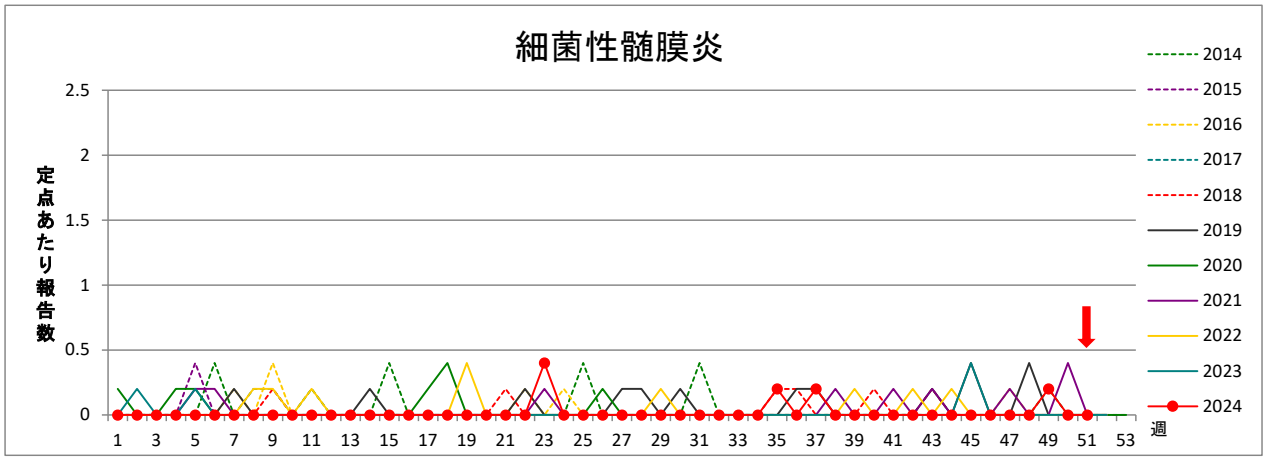

突発性発疹
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

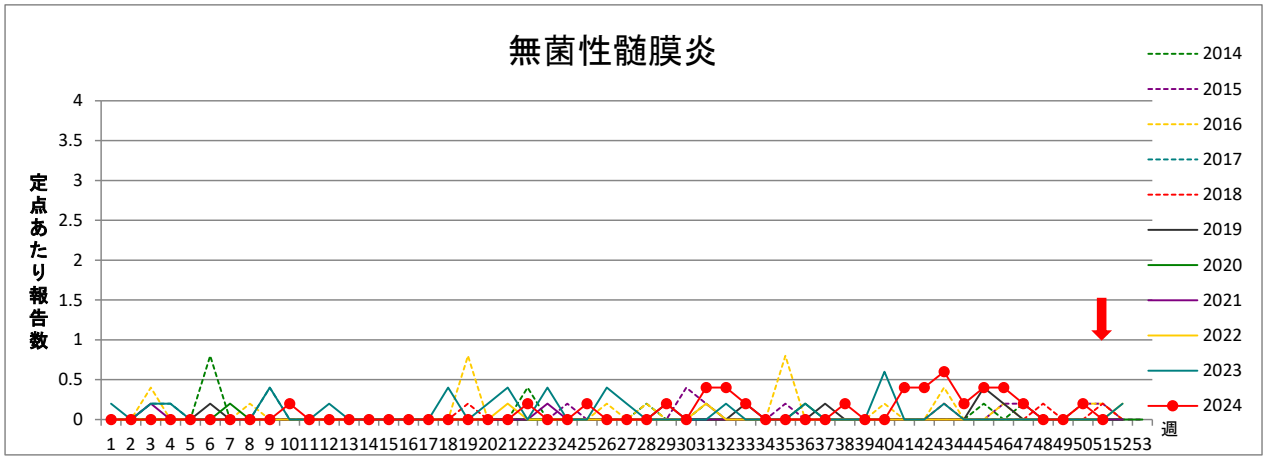

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

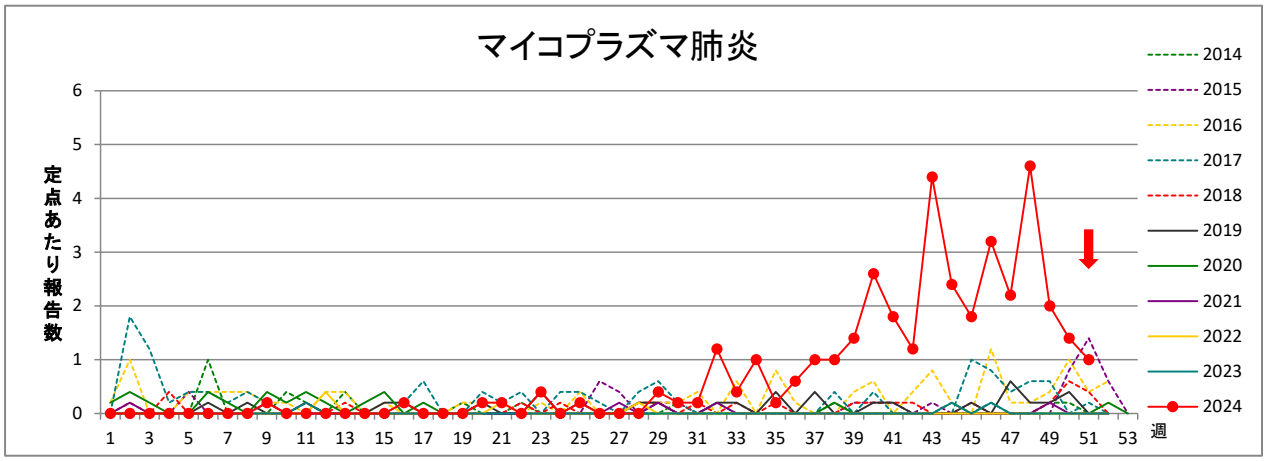

流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

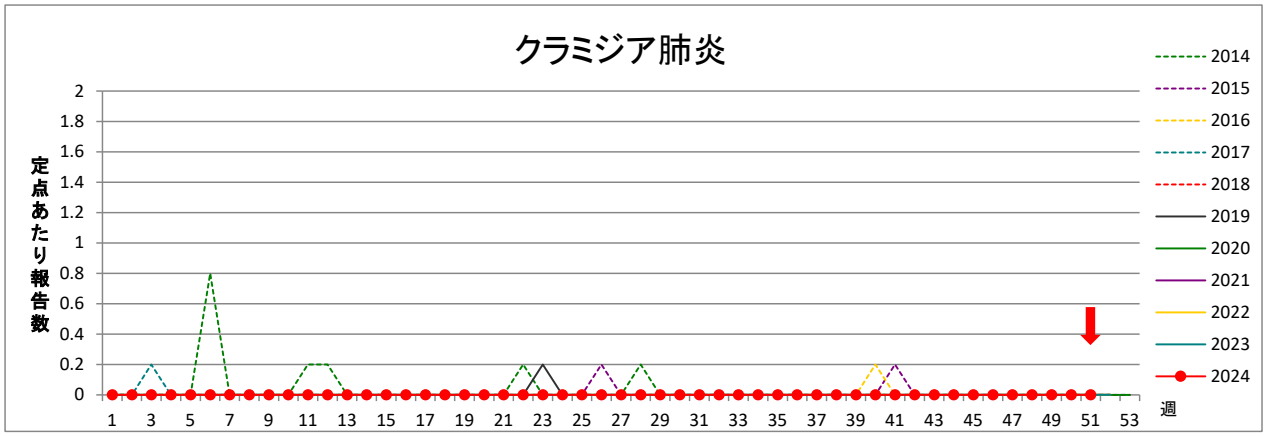

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

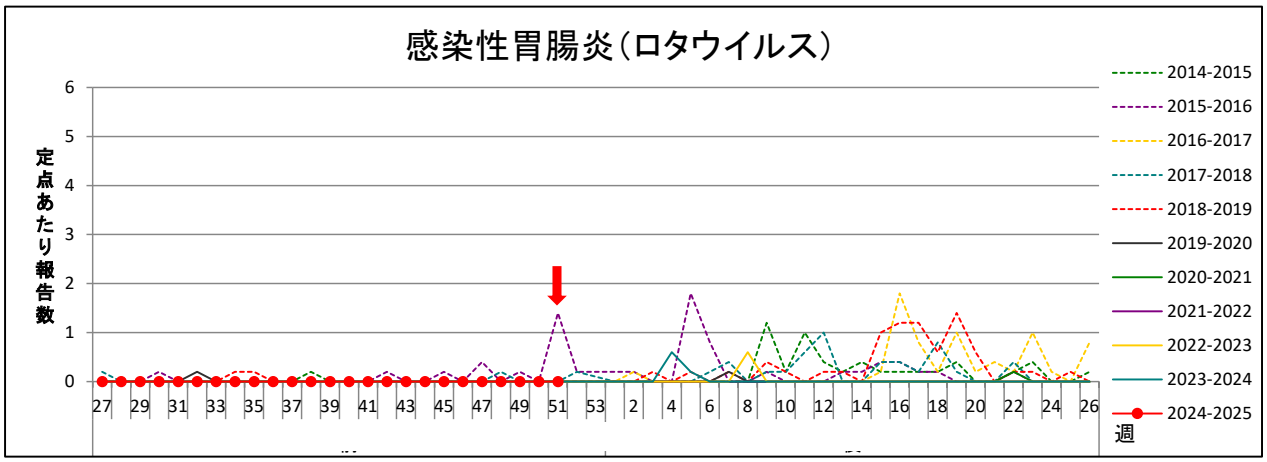

流行性角結膜炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024


細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024


マイコプラズマ肺炎
定点あたり報告数
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024


クラミジア肺炎
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53
週
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024


感染性胃腸炎（ロタウイルス）
定点あたり報告数
6
5
4
3
2
1
0
27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26
週
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025